

田代 散策マップ

歴史を活かし未来につなげるまち 田代

まちを探検♪
魅力を発見!

覚王山入門編

神社・お寺めぐり

四観音道

高低差を楽しむ

田代学区全体図

みどころ

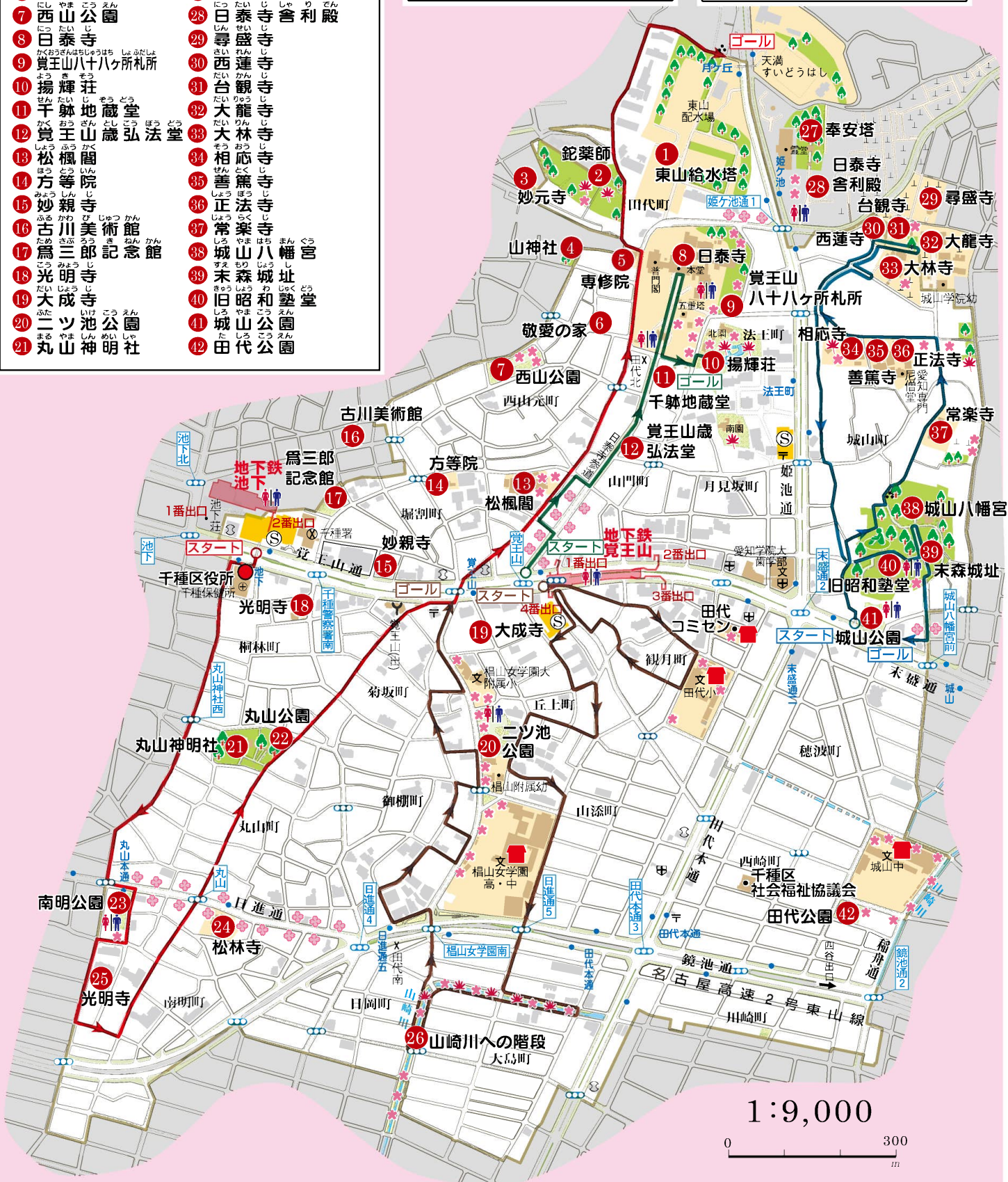
- | | |
|--------------|------------|
| ① 東山給水塔 | ②② 丸山公園 |
| ② 鉦薬師 | ②③ 南明公園 |
| ③ 妙元寺 | ②④ 松林寺 |
| ④ 山神社 | ②⑤ 光明寺 |
| ⑤ 専修院 | ②⑥ 山崎川への階段 |
| ⑥ 敬愛の家 | ②⑦ 日泰寺 |
| ⑦ 西山公園 | ②⑧ 日泰寺 |
| ⑧ 日泰寺 | ②⑨ 尋盛寺 |
| ⑨ 覚王山八十八ヶ所礼所 | ③① 台観寺 |
| ⑩ 揚輝荘 | ③② 大龍寺 |
| ⑪ 千跡地蔵堂 | ③③ 大林寺 |
| ⑫ 覚王山蔵弘法堂 | ③④ 相応寺 |
| ⑬ 松楓閣 | ③⑤ 善篤寺 |
| ⑭ 方等院 | ③⑥ 正法寺 |
| ⑮ 妙親寺 | ③⑦ 常楽寺 |
| ⑯ 古川美術館 | ③⑧ 城山八幡宮 |
| ⑰ 爲三郎記念館 | ③⑨ 末森城址 |
| ⑱ 光明寺 | ④① 城山公園 |
| ⑲ 大成寺 | ④② 田代公園 |
| ⑳ 二ツ池公園 | |
| ㉑ 丸山神明社 | |

コース

- コース① 覚王山入門編
のんびり歩いて参道グルメと買い物♪
- コース② 初級編
やっぱり神社・お寺めぐりが一番
ウォーキングにも最適、城山地区♪
- コース③ 中級編
とことん歩こう 南から北へ
先人に思いをはせる四観音道♪
- コース④ 上級編
坂あり階段ありビューポイントあり
高低差を楽しむトレーニングコース♪

凡例

- | | |
|--------|-------------|
| ● 区役所 | Ⓢ スーパーマーケット |
| ⊕ 保健所 | Ⓜ 一時避難場所 |
| Ⓧ 警察署 | 🚒 避難所 |
| ✕ 交番 | 🚏 市バス停 |
| 👮 消防署 | 🚶 トイレ |
| 📖 文学学校 | 📷 ビューポイント |
| 📧 郵便局 | 🌸 桜 |
| 🏥 病院 | 🌺 紅葉 |
| 🏦 銀行 | 🌸 ハナミズキ |

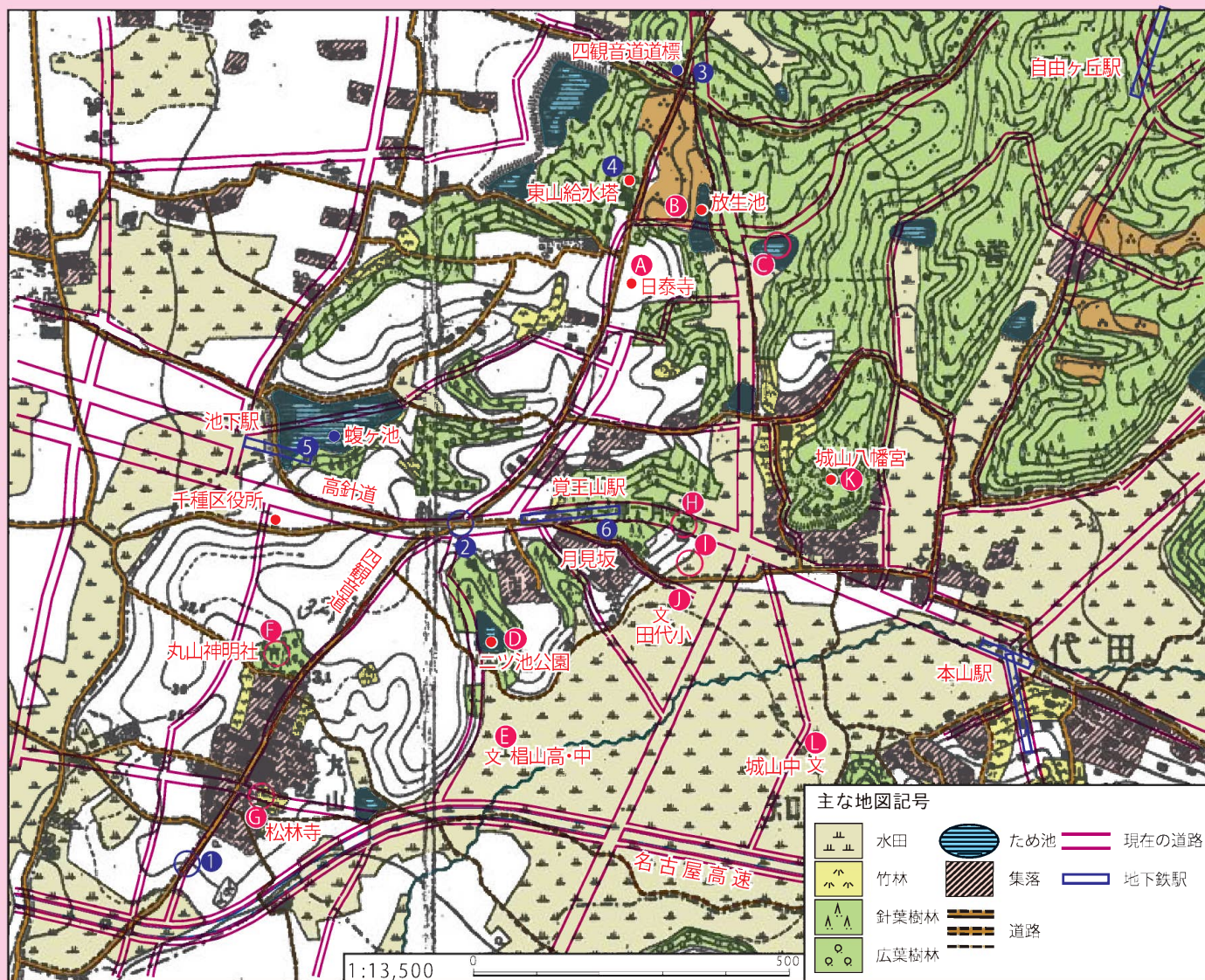


コース⑩番外編

田代学区いま昔 古地図で知る明治24年の田代♪

田代学区のもととなる田代村は、明治9年（1876年）末森村と丸山村の合併によって誕生しました。

昔の田代学区はどうだったか、明治24年（1891年）測図の大日本帝国陸地測量部（今の国土地理院の前身）発行2万分の1「名古屋」の地図の上に、現在の主な道路や施設を重ね合わせてみました。地図を片手に昔を想像しながら田代学区を歩いてみましょう。



日泰寺と放生池

日暹寺としてA地点に建立されたのは明治37年（1904年）。当時は樹木のない丘になっています。丘のふもと北側B地点に今は石碑のみとなった放生池があります。その東側の池C地点の一部は今も残っています。

ニツ池公園と椋山女学園

ニツ池公園は、名前の通り池でしたD地点。その南の水田地帯E地点に大正14年（1925年）椋山女学園ができました。

丸山神明社と松林寺

丸山神明社F地点は、承久3年（1221年）の創建。松林寺G地点の本堂は千種区で最も古い木造建造物といわれています。

田代小学校

田代小学校は明治6年（1873年）H地点に誕生しました。地図に文のマークが見えます。その後明治19年（1886年）I地点、昭和7年（1932年）J地点に校舎が建てられます。現校舎建設地は水田だった事がわかります。

末森城址と城山八幡宮

末森城は、1548年織田信秀が築いた城です。その地に昭和11年（1936年）に遷座したのが、今の城山八幡宮ですK地点。

城山中学校

城山中学校は昭和22年（1947年）田代小の校舎を借りて創立、その後昭和24年（1949年）現在地に新校舎が完成しましたL地点。

四観音道

南明町の南で現道と重なった四観音道M地点は、そのまま北上し、高針道（現・覚王山通）と交差しますN地点。さらに北上を続け、東山配水場の中を歩いていきますO地点には道標があります。

丘と水田とため池

地図を見ると、いくつもの丘と、それに挟まれた水田、多数のため池がみられます。東山給水塔は一番高い場所に作られましたP地点。

高針道と月見坂

高針道の北側には池下の地名の由来になったといわれる、蝮ヶ池がありますQ地点。月見坂は地図に地名が載っていますR地点。

コース①覚王山入門編

のんびり歩いて 参道グルメとお買い物♪

歩く距離 約1Km

歩く時間 約20分

2 鉦薬師

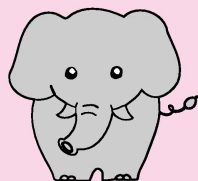
明国の帰化人、張振甫が創建。
名前の由来は円空作品が鉦彫り
であることから

毎月21日10時～14時公開



8 日泰寺

タイから贈られたお釈迦さまの骨を
安置する為に建立されたわが国唯一
の超宗派寺院。日泰は、日本と
タイをあらわしている

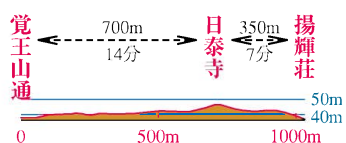


13 松楓閣

国の登録文化財。綺麗な桜の
古木と素晴らしい建物

(40代男性)

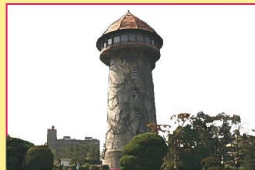
コースの高低差



1 東山給水塔

360度の展望。大空襲にも耐えて
市民の水を守った (70代男性)

春分の日と8月8日のみ公開



10 揚輝荘

松坂屋創業者伊藤次郎左衛門
祐民が建てた別邸。平成19年に
名古屋市へ寄贈。現在一部公開中

月曜休み



11 千手地藏堂

堂内には錫杖・宝珠をもつ立像
半跏の延命地藏がある

毎月21日公開

12 覚王山歳弘法堂

弘法大師の誕生から入定(62才)
までの像がある

毎月21日公開

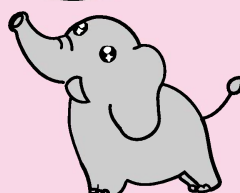


日泰寺参道

毎月21日の弘法さん縁日は集市・
楽座のよう (60代女性)

春、夏、秋祭りには若い人を中心と
してにぎわう

参道にはステキな
カフェや雑貨のお店
etc.があるよ!



鬼まんじゅう

覚王山名物。角切りのサツマ芋
が鬼の金棒を連想させる

(50代女性)

コース②初級編

やっぱり神社・お寺めぐりが一番
ウォーキングにも最適、城山地区♪

歩く距離 約2.5Km

歩く時間 約50分

五百らかん道

山桜の並木道

(70代男性)

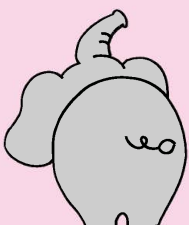


日泰寺五重塔

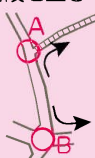
夕方(夕焼けの時)、日泰寺の五重塔がきれいに見えて、塔も影もよく見える (田代小6年)

五重塔が見える道です

(80代男性)



行きはこの階段を上る



細い階段

帰りはこの交差点を左折

40 旧昭和塾堂

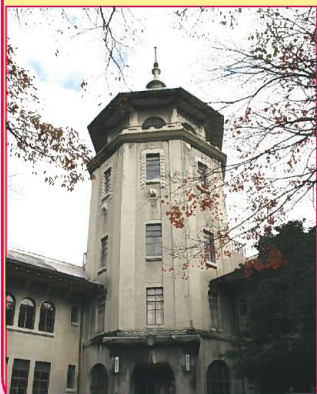
八角形の塔をもつ、昭和初期の歴史的建造物

美しい!

(50代女性)

使ってみたい。中へはいりたい

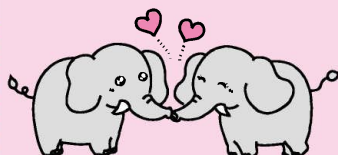
(30代女性)



連理木

縁結びの木

(30代男性)



30 西蓮寺

池にお地蔵さんがまつられている
(50代女性)



33 大林寺

滝川家の立派な墓碑が並んでいる
(60代男性)

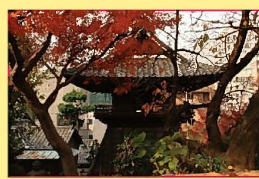


D 五百らかん道を上がり大龍寺へ

C 左の坂道を上がり大林寺へ

34 相應寺

秋の紅葉が美しい (40代女性)
眺めがよい (30代男性)



紅葉がきれい (70代男性)

木漏れ日の問道 (70代男性)

日泰寺の塔と高いビルとの組み合わせ。夕日が落ちる頃、車で通るとうれしくなります

(40代女性)

35 善篤寺

門から見る紅葉 (60代の方)



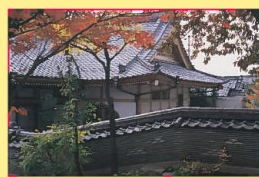
38 城山八幡宮

初詣に人気! (40代女性)

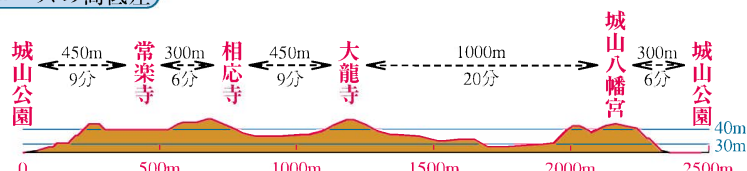


36 正法寺

尼さんが修行してみえる
(田代小学校盆踊り参加者)



コースの高低差



コース④上級編

坂あり階段ありビューポイントあり 高低差を楽しむトレーニングコース♪

歩く距離 約3.6Km
歩く時間 約1時間15分
上る階段 227段
下る階段 253段 合計480段



東山スカイタワーが一望。タワーの東南方面もよく見えます (70代男性)
朝焼けが美しい丘 (70代男性)



20 ニツ池公園

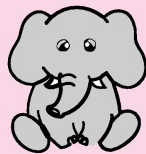
4月には見事な桜が美しい (20代女性)
2本の柳の巨木がある (70代男性)

M 7番目の階段 81段上る
L 6番目の階段 85段下る
K 5番目の階段 71段上る



階段の上から真正面に東山スカイタワーが見える (40代女性)
階段と石垣のある風景 (50代男性)
まちのけしきがきれいにみえる (田代小5年)

J 4番目の階段 76段下る
I 日進通5のバス停の急坂を上る



26 山崎川への階段

山崎川に降りられる階段がある。
桜の時期が特によい (20代女性)



山崎川沿いの桜がみごとです。特に日岡橋と大島5号橋に立ち、両側から川へ張り出す桜の花を見るのが素敵です (40代女性)
春、桜の時期に散歩すると良い。下流の山崎川より人が少なくて良いですよ (50代男性)

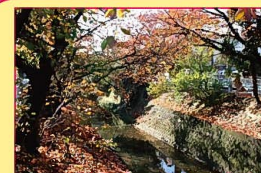
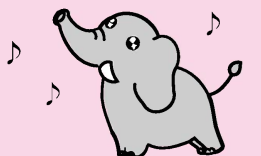


階段から見える東山スカイタワーのある風景。特に夜が美しい (40代女性)

F 3番目の階段 75段上る
G 幼稚園横の三叉路 急坂を上る
H 坂道を下ったら右折



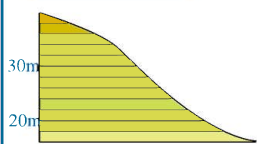
金剛鐘。原則授業がある日の朝8時30分に奏鳴され、近隣に鳴り響いています (梶山女学園の方)
朝の鐘の音が素敵 (70代の方)



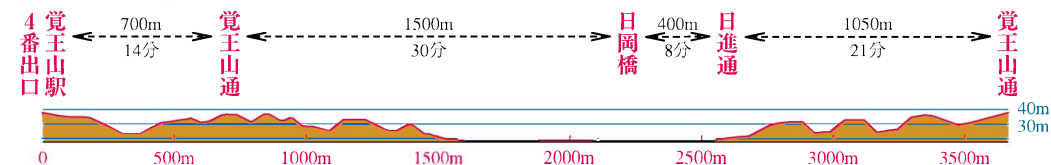
春は桜、夏は緑陰、秋は落ち葉が川面にせり出してキレイ! (20代女性)



マップの高低差



コースの高低差



なぜ縁日は“弘法さん”？

弘法大師(空海)の月命日である21日、日泰寺参道は毎月“弘法さん”でにぎわう。そもそも日泰寺は、お釈迦さまの骨(仏舎利)をまつるために作られたのに、どうしてなのだろう。

「日泰寺が作られた当初はお参りにみえる人が少なかった。そこで、弘法大師のお力を借りて参拝客を増やそうと、明治42年(1909年)から覚王山新四国八十八ヶ所の札所が作られた」とは、一番札所の堂守、岩田

さんのお話である。

翌年には、参道に覚王山歳弘法堂も開基。大正時代にはすでに縁日があったといわれている。

ちなみに仏舎利は、舍利殿奥にある奉安塔に納められ実際に見ることはできない。



鉦薬師と張振甫

鉦薬師は、政権争いに敗れ明(今の中国)から逃れてきた張振甫が、尾張藩2代目徳川光友の援助で寛文9年(1669年)に創建、医王堂ともいわれる。張振甫は、戦乱で散っていった仲間の鎮魂と供養のために、この鉦薬師を建てたと言われている。光友から藩医にと請われたが、表に出るとまた追手がくる事態をおそれ断る。しかし実質はお抱え医のような立場であった。昔は、伊吹山麓からこのあたりまで良い薬草がとれ、張振甫はそれらをうまく調合し、治療にあたった。今も子孫は医療に携わっておられる。現在の振甫町という地名は、この張振甫が由来となっている。

また、堂内の円空仏は、張振甫が藩主に許しを請い、まつたものといわれている。



田代散策マップ作成へのご協力、どうもありがとうございました！

平成22年12月、学区全世帯を対象に「田代学区まちづくりアンケート」を千種区役所から配布、536枚の回答などをもとにしてこのマップは作られています。アンケートに協力してくださった方々へ、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。“既存マップとは違う形のものを”を、“田代学区民の意見を反映したマップを”と、地域委員やマップ作成実行委員および編集委員一同、作業を続けてきました。時には厳しいご意見やあたたかいアドバイスをいただきながら、この田代散策マップをお届けすることができました。

アンケート調査はこの他にも学区内の12か所で定点調査および聴き取り調査をし、これらをあわせたものを使わせていただきました。なお、イラスト・写真も学区の方からの提供です。そして、本年2月21日の覚王山散策に参加してくださった方々を含め、みなさまのご協力に心より感謝いたします。

参考資料 覚王山MAP(覚王山商店街振興組合事業部)
田代(田代小学校創立百年記念誌)
千種村物語(小林元著 山星書店)
なごやの古道・街道を歩く(池田誠一著 風媒社)
み・ちくさマップ(城山・覚王山地区魅力アップ事業実行委員会)

発行 千種区役所まちづくり推進室

〒464-8644
名古屋千種区覚王山通8-37
tel 052-753-1823 fax 052-753-1924
e-mail: a7531821@chikusa.city.nagoya.lg.jp

平成23年3月発行

この冊子は、田代地域委員会による取り組み事業の一つとして作成されました。
この冊子は、古紙バルブを含む再生紙を使用しています。